

組合員WEBアンケート「あなたの声をパルシステム東京へ！2025」まとめ

パルシステム東京 機関運営室

1. 目的

広く組合員の声を集め、政策や事業の方針づくりの参考とする。

2. 実施概要

(1) 実施期間：2025年10月20日（月）～11月23日（日）の5週間

※実施期間にホームページ、メールマガジン、パルシステムアプリなどで広報

(2) 集約対象：全組合員

(3) 集約方法：WEBアンケート

3. 参加組合員属性

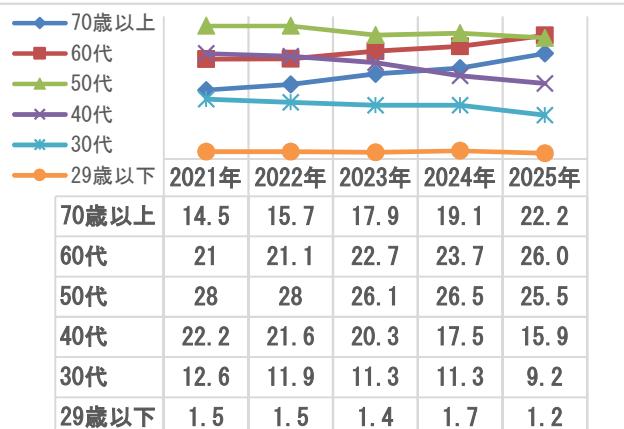
(1) 参加総数、お住まい

回答数：7,945件
区部：約60% 市部：約40%

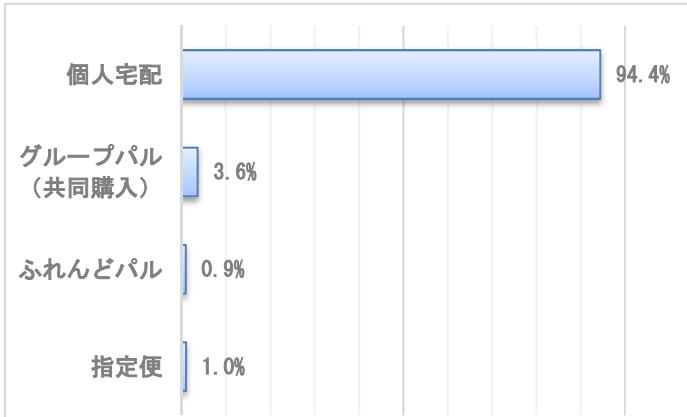
(2) アンケート参加

今回初めて意見を寄せた方	：約60%
去年もしくはそれ以前にも意見を寄せた方	：約40%

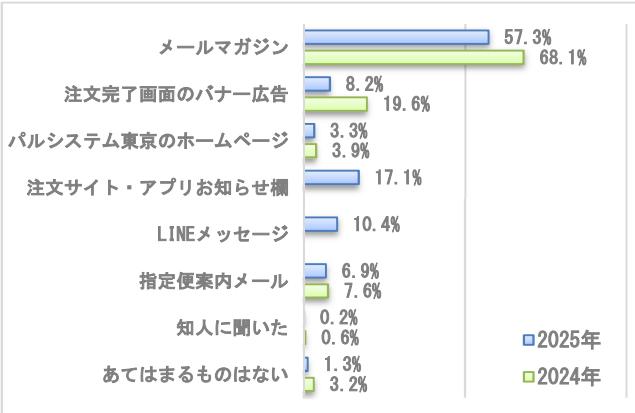
(3) 年代構成



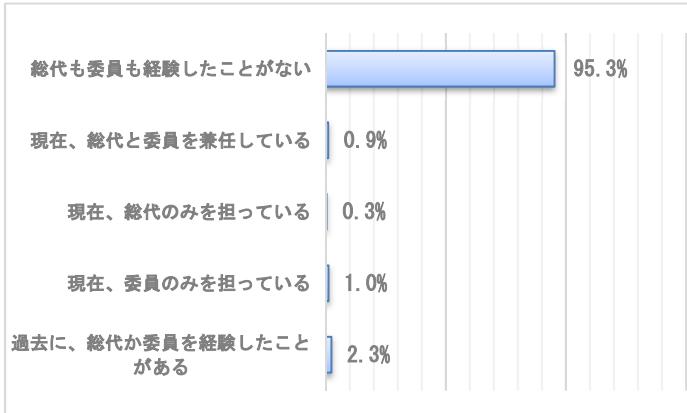
(4) 利用形態



(5) アンケートを知ったきっかけ



(6) 総代※1・委員の経験



※1 総代・・・パルシステム東京の53万人の組合員から510人を、9つの地域区分ごとに選出しています。事業や組織の活動の進捗をチェックし、生協の最高意思決定機関である「総代会」でパルシステム東京の事業や組織の活動の方針を議決します。

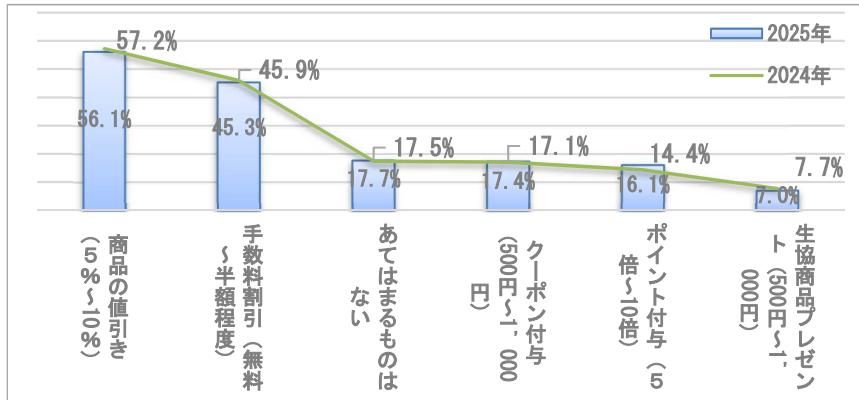
<参加組合員の属性について>

- 回答者の構成は50代以上が全体の7割以上でした。どの世代も東京23区内の利用者の割合が多く、全世代で9割以上が個人宅配を利用しています。初めての参加者が約6割で、29歳以下では9割近くの方が初めての参加でした。総代・委員も経験したことがない方は9割以上となっており、若い世代ほど割合が高くなっています。

- 広報では、LINEメッセージを導入し、60代以上の層からの認知度が向上する成果を得られています。

4. 回答結果 ※以下、経年比較グラフ内の数字は最新年度のみ掲載しているものもあります。

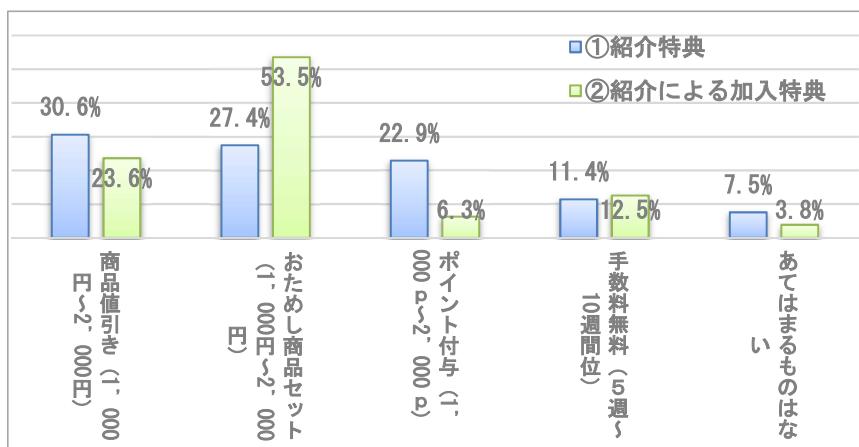
【設問1】パルシステムを継続的に利用したくなる魅力的な特典は何ですか。(最大2つまで選択可)



- ・全年代を通じて「商品の値引き」と「手数料割引」が高い支持を得ています。年齢が下がるにつれ「クーポン付与」や「手数料割引」を選択する傾向となりました。また「あてはまるものはない」を選択する回答が微増しており、年齢が上がるほど、他の特典を求める声が増加しています。

【設問2】パルシステムの紹介特典について、お答えください。

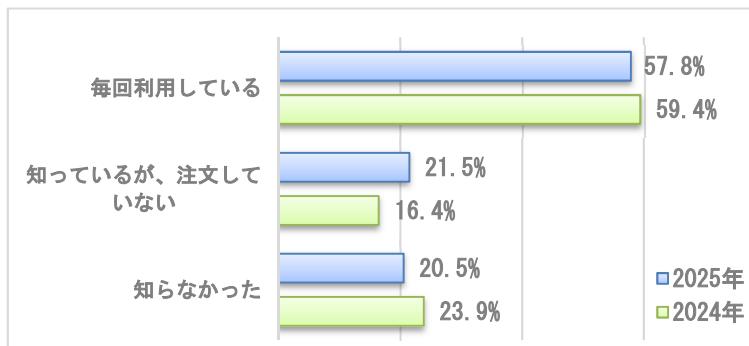
- お友達やお知り合いを紹介いただいた時のプレゼントとして一番魅力的なものは何ですか。
- 紹介によって加入したお友達やお知り合いにとって、喜ばれると思うプレゼントは何ですか。



- ・①の紹介特典は、60代以下では「商品値引き」、70歳以上は「おためし商品セット」を好む傾向となりました。
- ・②の紹介による加入特典は、全世代で「おためし商品セット」が最も多く選択されています。また、30代以下では「商品値引き」の特典も望む割合が多くなっています。

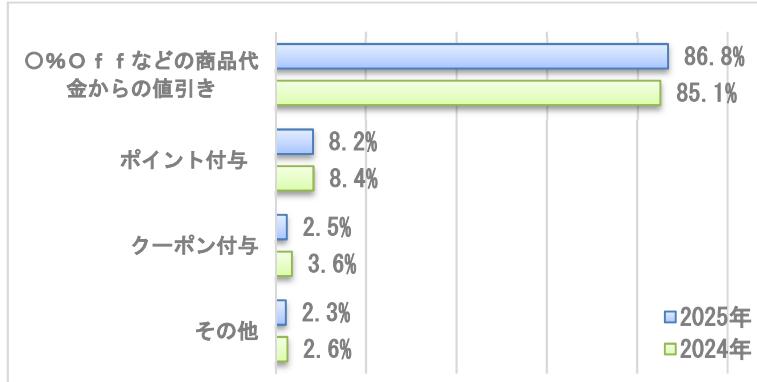
【設問3】パルシステム東京独自で「くらし応援企画」を年に数回実施していますが、ご存じですか?

※「くらし応援企画」は、日頃の感謝を込めた利用還元の一つで、お得に商品を利用できる企画です。



- ・「毎回利用している」は若干減少しているものの、認知度は前年と比べて向上していることがうかがえます。
- ・世代別では、40代以上は利用率が高く6割前後が利用していますが、若い世代ほど、利用率が低下しています。若年層への情報発信と利用に至っていない層へのアプローチが課題として浮き彫りになっています。

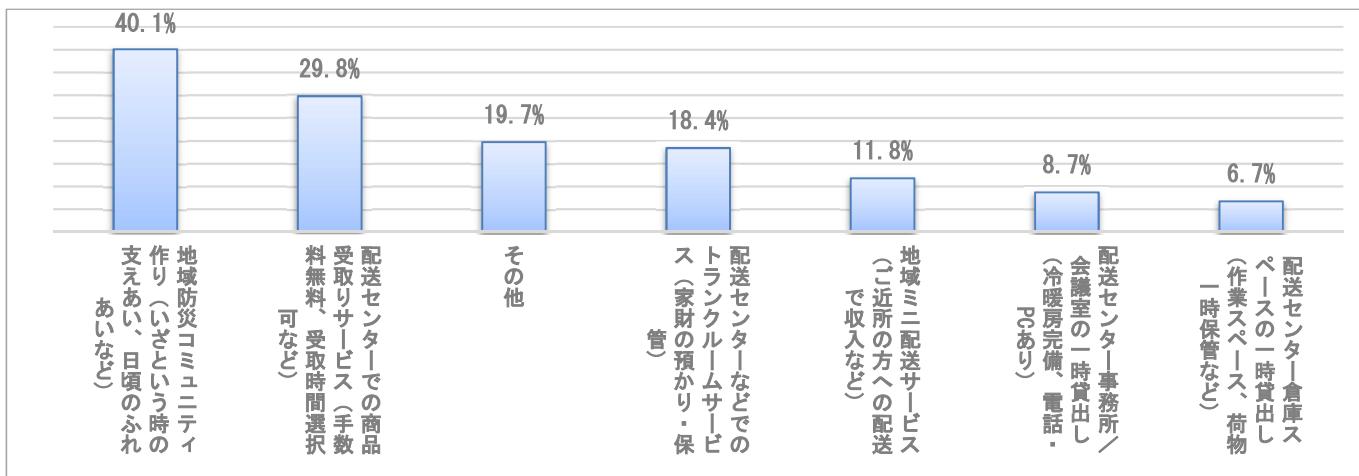
【設問4】今後の「くらし応援企画」で期待したいことはなんですか。



- ・前年同様、全世代「商品代金からの値引き」が最も高く、全体の86.8%を占めています。
- ・年代別では「ポイント付与」は全体で8.2%ですが、70歳以上では12.4%、「クーポン付与」も全体で2.5%に対し、29歳以下では16.8%と高い期待が寄せられています。

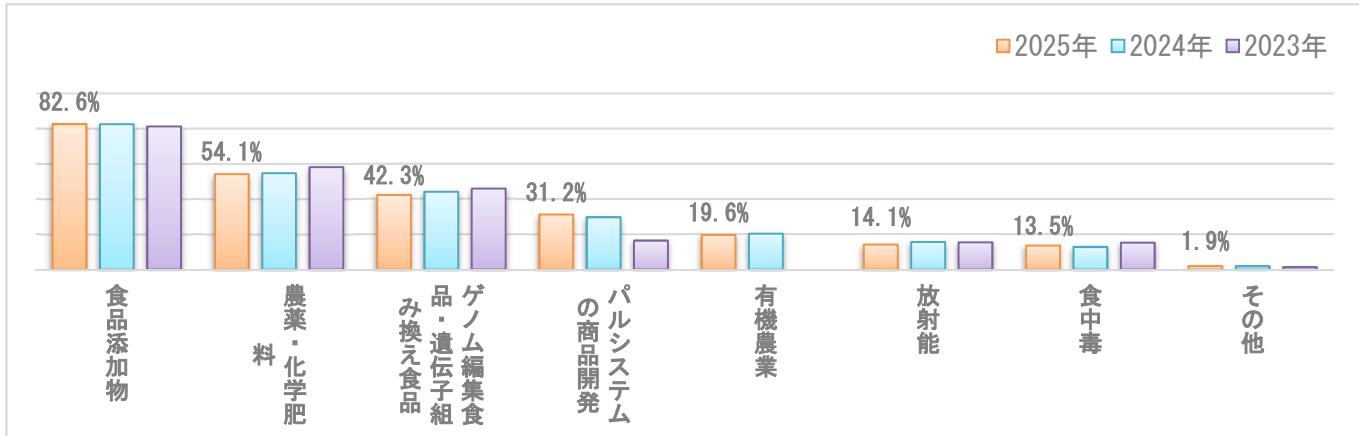
【設問5】今後の持続可能な事業運営に向けて、新たな取り組みを検討しています。

次の中で、内容に関心が持てたり、賛同できるものをお答えください。(最大3つまで選択可)



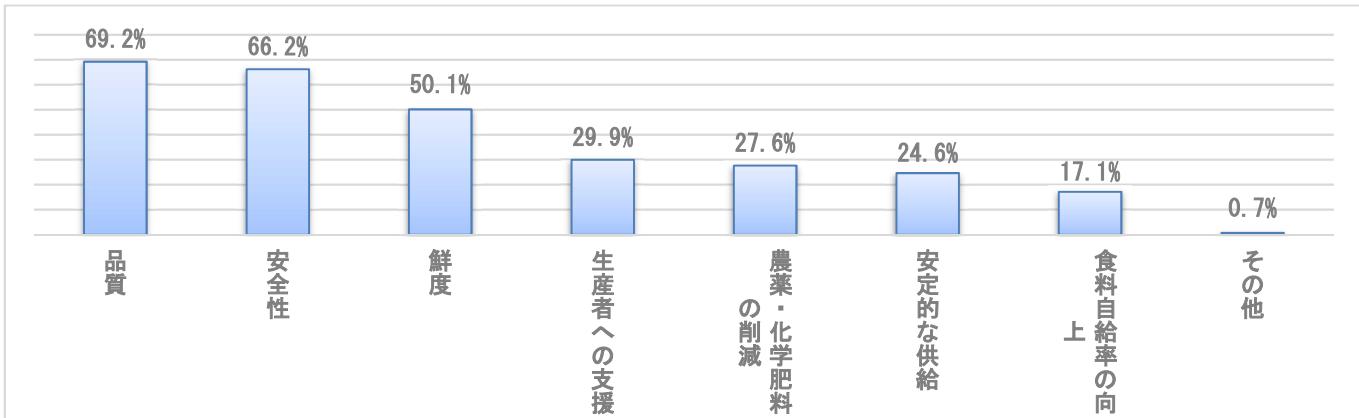
- 全体では「地域防災コミュニティ作り」に最も関心が寄せられました。年代別では40代以下では「受取サービス」に多くの関心を示す一方、50代以上は「地域防災コミュニティ作り」に関心を示す割合が高くなっています。

【設問6】食の安全についてお聞きします。関心の高いテーマを選んでください。(最大3つまで選択可)



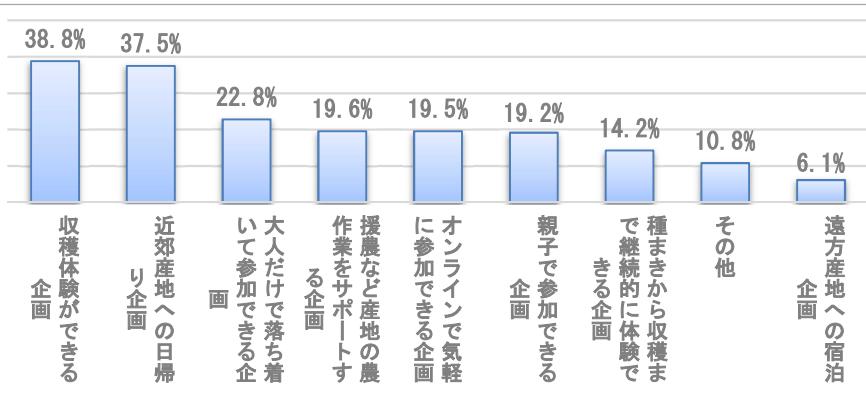
- 全世代を通じて「食品添加物」へ最も高い関心が寄せられています。世代別では29歳以下では、日常生活に身近な問題である「食中毒」に対して23.2%と高い関心が示されています。また、年代が上がるごとに「農薬・化学肥料」の関心度が増加する傾向となっています。

【設問7】パルシステムの農産物に求めること、期待することは何ですか？(最大3つまで選択可)



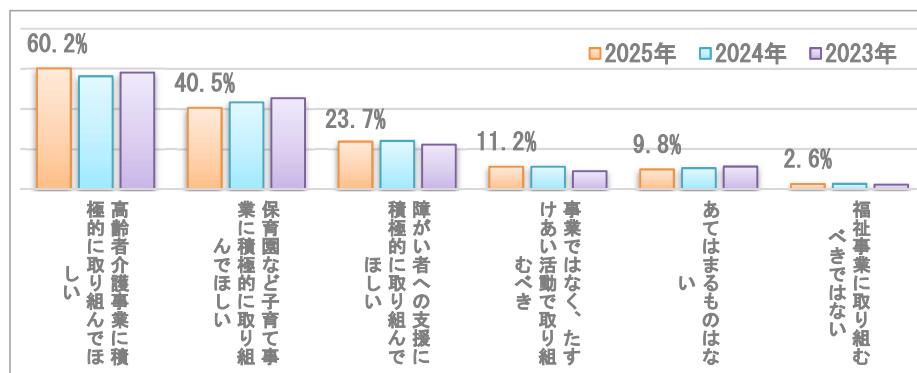
- 全世代で「品質」「安全性」「鮮度」がトップ3を占めており、農産物に対する期待が共通しています。その中でも特に30代では「品質」を8割近く選択しており、全世代で最も高い期待が寄せられました。70歳以上の方は「農薬・化学肥料の削減」への期待が、他の年代より高い傾向となりました。

【設問8】パルシステム東京は創設以来、生産者と消費者の交流を大切にし、様々な産地交流企画を実施しています。どのような産地交流企画であれば参加してみたいと思いますか？（最大3つまで選択可）



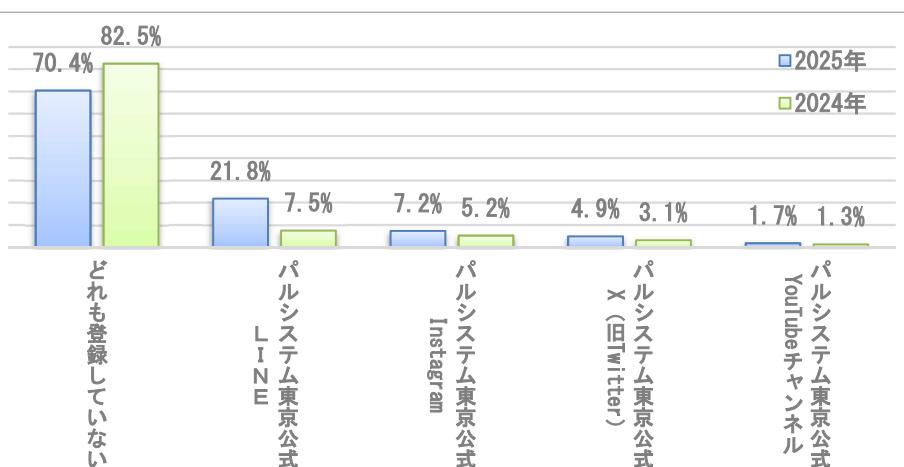
- ・全体で「収穫体験」や「近郊産地への日帰り企画」が好まれる傾向となりました。
- ・50代以上では「援農企画」や「落ち着いて参加できる企画」なども人気となっています。
- ・30代は「親子企画」が7割以上で、多くの方が親子での企画参加を希望しています。

【設問9】パルシステム東京では高齢者介護事業（介護保険事業）と子育て事業（保育園）に取り組んでいます。パルシステム東京が取り組んでいるこの福祉事業に、期待したいものは何ですか。（最大2つまで選択可）



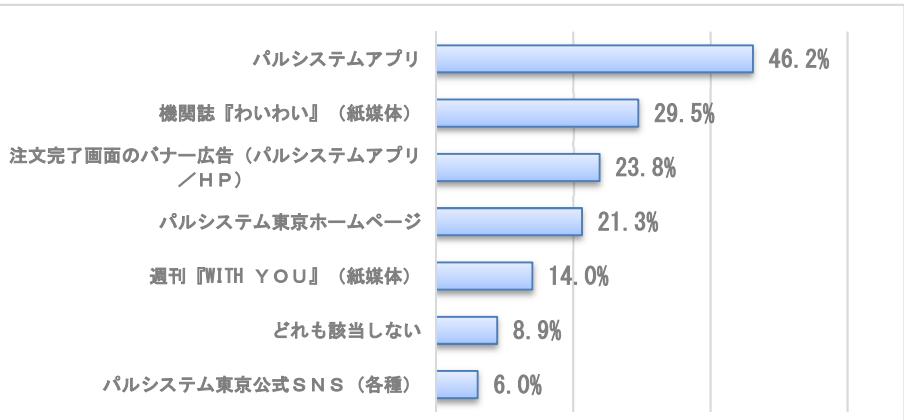
- ・設問は2014年から続けていますが、傾向に大きな変化は見られません。
- ・年代別では、40代以下は子育て事業への期待が高く、50代以上では高齢者介護事業への期待が集中しています。

【設問10】パルシステム東京の情報発信ツールで、登録（フォロー）しているSNS媒体は何ですか。（複数回答可）



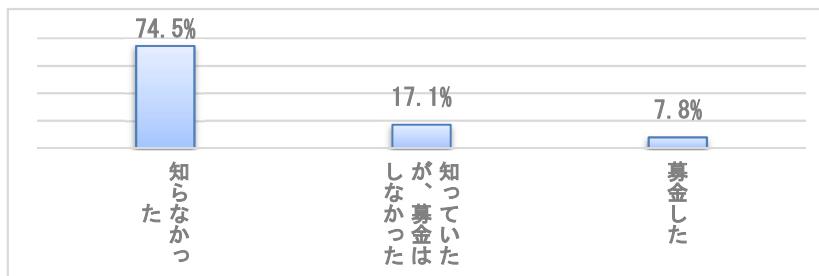
- ・昨年からの比較ですべての媒体で登録率が向上しました。特に「LINE」は7.5%から21.8%へと大幅に増加し、最も利用されている媒体となりました。世代別では、29歳以下と30代の登録率が高く、特に30代のLINE登録率は34.6%に達しました。徐々にではありますが、全媒体とも組合員に浸透してきています。

【設問11】パルシステム東京のお知らせ（NEWS）やイベント募集など、情報を得る際の主な媒体は何ですか？



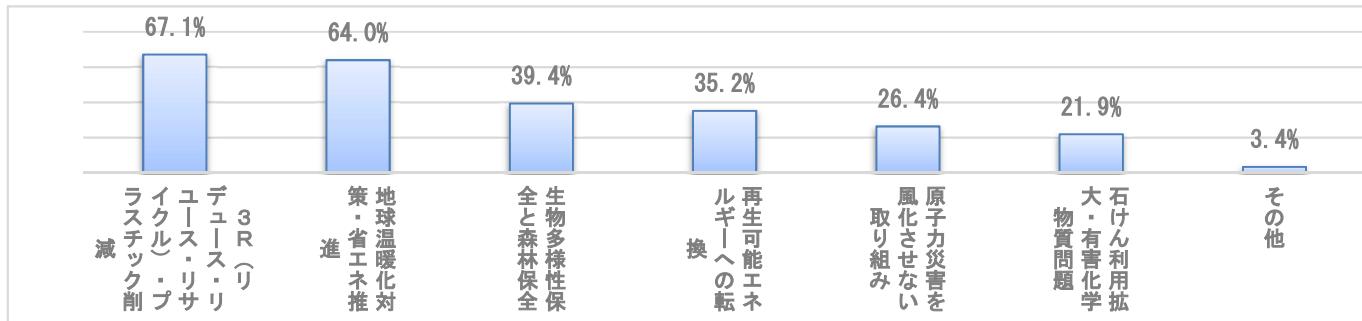
- ・【設問11】は今年新設の設問です。
- ・情報収集で利用されている媒体として「パルシステムアプリ」が最も選択されました。世代別では、若年層ほどアプリの利用率が高く、年齢が上がるにつれてアプリ利用は減少し、機関誌『わいわい』など、紙媒体の利用が増加する傾向が見られます。

【設問12】「困っている方を食で支える募金」について該当するものを選んでください。



- 【設問12】は今年新設の設問です。
- 取り組みから2年ほど経過しますが、約7割が「知らなかつた」を選択しており、周知に課題が残る結果となりました。70歳以上で募金率が14.4%と比較的高い傾向が見られます。

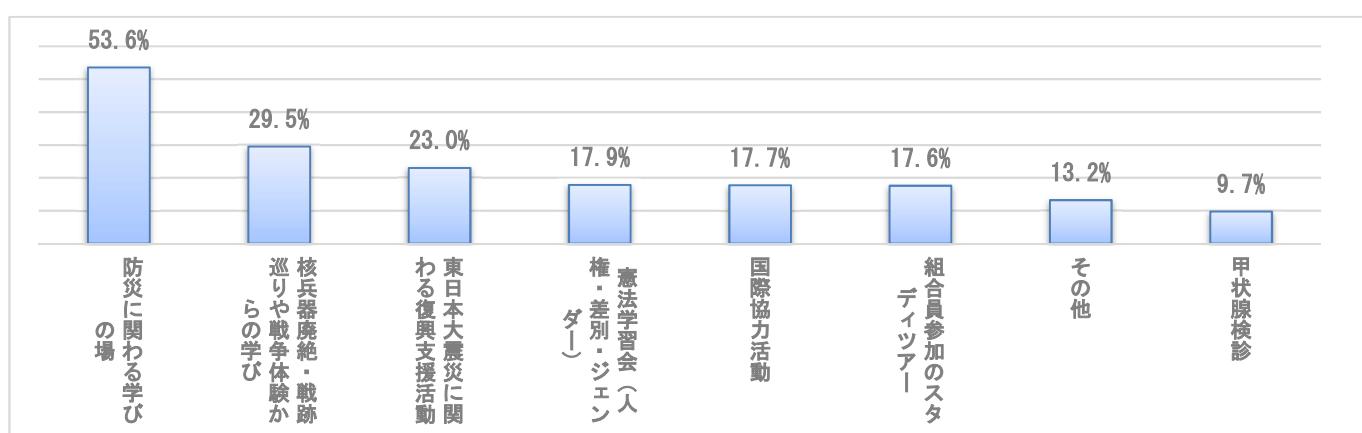
【設問13】パルシステム東京では、環境保全や資源循環型社会を目指すさまざまな活動を行っていますが、興味を引かれる分野は何ですか。(複数回答可)



- 全体で「3R・プラスチック削減」と「地球温暖化対策・省エネ推進」に高い関心が示されています。多くの項目で年代が上がるほど関心が高い結果となりました。「原子力災害を風化させない取り組み」は世代間での差が最も顕著で、30代以下は約13%なのに対し、60代以上は約30%と、世代による意識の差が明確な結果となりました。

【設問14】パルシステム東京の平和や復興支援に関わる取り組みのテーマや手法としてどのような企画に参加したいと思いますか。(複数回答可)

※パルシステム東京では、平和な共生の世界をめざし、さまざまな活動をすすめています。



- 全体で「防災学習」への関心が最も高く、5割以上が参加を希望しています。「核兵器廃絶・戦争体験からの学び」はどの年代も約3割の方が選択しており、世代を問わないニーズがありました。「組合員参加のスタディツアーアイディア」は、40代で他の世代より高く、29歳以下では「東日本大震災の復興支援活動」の参加を望む声が全世代で最も高い3割以上となっています。

5. おわりに

アンケートへのご協力、ありがとうございました。2011年から実施している「あなたの声をパルシステム東京へ」は今回で15回目となりました。

アンケート結果は、パルシステム東京の次年度方針の策定や、具体的な施策・企画等の検討の参考として活用させていただきます。利用者からは商品代金の値引きや添加物・農薬削減への関心が示されており、今後の取り組みが期待されています。収穫体験や近郊日帰りなどの産地交流企画、3R・プラスチック削減などの環境保全活動にも引き続き注目が集まっています。

2026年度もWEBアンケートの実施を予定しています。引き続き、多くの声をお寄せください。

以上